2020年度 授業シラバスの詳細内容

〇基本情報					
科目名(英)	生涯スポーツ指導(Lifetime Sports Guidance)				
ナンバリングコード	大分類 / 難易度教養基礎科目 / 基礎レベルA10502科目分野健康科目				
単位数	1	配当学年/開講期	3 年 / 前期・後期		
必修-選択区分	選択				
授業コード	A017052	クラス名	-		
担当教員名	武田 正芳、吉田 明				
履修上の注意、 履修条件	教職課程履修者は、生涯スポーツ指導1単位は必修です。運動ができる服装、体育館用シューズを必ず用意して下さい。 出席は毎時間取ります。遅刻をしないようにしてください。 レポートの提出を求めます。				
教科書	各講義で資料を配付します。各自ファイルに保管し毎週持参してください。				
参考文献及び指定図 書	特になし。				
関連科目	健康の科学、スポーツサイエンス、NSCA認定校カリキュラム科目				

〇授業の目的・概要等				
授業の目的	日本でのスポーツは、競技と競争によって優劣を決めることを第一の目的とする傾向が見られます。しかし、スポーツ欲求の高まりの中で、競技スポーツだけでなく、誰にでも生涯を通じて楽しめる生涯スポーツ習得の必要性が高まっています。 生涯スポーツ指導は、従来の種々の種目に加え、ニュースポーツを行い、生涯にわたり積極的にスポーツ活動に参加しようとする態度と実践能力ならびに指導力を養うことを目的とします。			
授業の概要	実施種目は受講生数により決定する。生涯スポーツの導入としてできる限り多くの種目を経験してもらいます。第15回目にレポートを作成してもらいます。			
	(1)授業の形式	「演習等形式」		
授業の運営方法	(2)複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」		
	(3)アクティブ・ラーニング	グループワーク		
地域志向科目	該当しない			
実務経験のある教員による授業科目	該当なし			

〇成績評価の指標)成績評価の指標			〇成績評価基準(合計100点)			
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中 間確認等)	提出物 (レポート・作 品等)	無形成果 (発表・その 他)			
【関心・意欲・態度】	スポーツを楽しんでいる。			40点			
【知識·理解】				20点			
【技能・表現・コミュニケーション】				30点			
【思考·判断·創造】	生涯にわたり積極的にスポーツ活動に参加しようとする態度と実践能力ならびに指導力がある。.		10点				

心巧「可同「相」但』	こ大成形力ならいに指导力がめる。.	10,70
)成績評価の補足(具体	▶的な評価方法および期末試験・レボート等の学習成果・課題	のフィードバック方法)
5週目にレポートを作成	えしてもらいます。	
達成水準の目安は以下の	の通りです。	
Sレベル]単位を修得す	るために達成すべき到達目標を満たしている。	
Aレベル]単位を修得す	るために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。	
Bレベル]単位を修得す	るために達成すべき到達目標をかなり満たしている。	
Cレベル]単位を修得す	るために達成すべき到達目標を一部分満たしている。	

〇その他
O CO IE

2020年度 授業シラバスの詳細内容

O授業計画 科 目 名:生涯スポーツ指導(Lifetime Sports Guidance) 授 担当教員: 武田 正芳、吉田 明	受業コード: A017052	O授業計画	科 目 名 : 生涯スポーツ指導 (Lifetim 担当教員: 武田 正芳、吉田 明	e Sports Guidance)	授業コード: A017052
学修内容		学修内容			
1. 生涯スポーツ指導オリエンテーション生涯スポーツ指導について講義の進め方、クラス分け等行います。		9. 基礎技術 卓 球 卓球は、その人の ポーツにつなげるこ	力に応じ、老若男女誰にでも楽しめるスポーツとを目的とします。	ツです。卓球を通じて、社会 <u>性</u>	生、協調性を身につけ、生涯ス
予習: 次回の実施種目について予習をする。キーワード:バドミントンの歴史、ルール、審判法 復習: 学校体育と競技スポーツから、生涯スポーツの目的についてまとめる。 2. 基礎技術 バドミントン 年齢、男女問わずに誰でもレクリエーション的に行う面と、スポーツとしてゲームを展開する2面からとら しめることを目的とします。	(約1.0h) (約1.0h) らえ生涯を通して楽	復習: ルールと 10. 応用技術①	技術的課題をまとめる。 と基礎技術の再確認。 (スマッシュ等)・ディフェンスの練習・ゲームを	行います。	(約1.0h) (約1.0h)
予習: 次回の技術的課題をまとめる。 復習: ルールと基礎技術の再確認。 3. 応用技術① サービス・レシーブ・クリアーの練習・ヘアピンの練習・ゲームを行います。	(約1.0h) (約1.0h)	復習: ルールと 11. 応用技術②	ゲームプランを立てる。 と応用技術の再確認。 ス、ダブルス)を行います。		(約1.0h) (約1.0h)
予習: 次回のゲームに向けルールを再確認する。 復習: ルールと応用技術の再確認。 4. 応用技術② ゲーム(ダブルス、シングルス)を行います。	(約1.0h) (約1.0h)	復習: ゲームを 12. 基礎技術 ミニテニス 昭和60年に生涯	実施種目について予習をする。キーワード:ミニテニ を振り返り分析をする。 スポーツとして誕生した、ニュースポーツです。 ともあるスポーツです。健康な生活を送るため「	。テニスと同様のルールで狭	
予習: 次回のゲームプランを立てる。 復習: ゲームを振り返り分析をする。 5. 応用技術③ ゲーム(シングルス、ダブルス)を行います。	(約1.0h) (約1.0h)	予 習 : 次回の打	明・サービスの練習・サービスリターンからラ! 技術的課題をまとめる。 と基礎技術の再確認。 を行います。	リーの継続を行います。	(約1.0h) (約1.0h)
予習: 次回の実施種目について予習をする。キーワード: パスケットボールの歴史、ルール、審判法 復習: ゲームを振り返り分析をする。 6. 基礎技術 バスケットボール バスケットボールは、2つのチームが入り交じり、チーム内の攻防の役割を分担し、パスやドリブルを使	(約1.0h) (約1.0h) :ってボールを運び		ゲームプランを立てる。 と応用技術の再確認。 を行います。		(約1.0h) (約1.0h)
シュートして得点を競い合うことが楽しい運動です。	(約1.0h) (約1.0h)		運動習慣を把握し、生涯どのようにスポーツと関わ を振り返り分析をする。 てもらいます。	ることができるかまとめる。	(約1.0h) (約1.0h)
予習: 次回のゲームプランを立てる。 復習: ゲームを振り返り分析をする。 8. 応用技術② ゲームを行います。	(約1.0h) (約1.0h)	予習: 復習: 16.			(約1.0h) (約1.0h)
予習: 次回の実施種目について予習をする。キーワード: 卓球の歴史、ルール、審判法 復習: ゲームを振り返り分析をする。	(約1.0h) (約1.0h)	予習: 復習:			